

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域通貨検討事業
事業主体の名称	益子町地域通貨検討委員会
代表者の名称	会長 塚本裕昭
事業主体の所在	益子町益子2030番地 益子町観光工商課内
事業主体の概要	益子町の「地域経済活性化」「地域活動・ボランティア活性化」「コミュニティ活性化」等に寄与する「益子町地域通貨」の本運用に向け、関係機関と協力し、委員会委員の意見を聴取し、試験運用に反映させることを目的とする。 ・設置：平成26年6月27日・構成委員：益子町商工会、社会福祉協議会、道の駅まじこ関係、子育て支援指導者、環境ボランティア団体、ほか益子町役場関係課職員
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、町の政策等により、官民協働や市民活動が打ち出されているが、現状として、ボランティア活動など法定通貨では評価されにくい。また、町内外に大型店舗が進出し、町内の小売店の売り上げは落ちる一方である。特に、「栃木県市町村民経済計算」によると、平成14年度には720億円あった町内総生産は、大企業の撤退した平成22年度には408億円にまで落ち込んだ。東日本大震災後減少していた観光客数は、陶器市をはじめとするイベント等の開催により観光客数は回復してきているが、平成25年度の町内総生産は506億円にとどまっているため、商工業者は非常に厳しい環境から抜け出せない状況である。また人口減少についても、生産年齢人口である20歳代～30歳代の転出超過が顕著である。このため、人口減少に歯止めをかけ、いかにして地域経済、地域・ボランティア活動、コミュニティの活性化を図るかが課題である。
事業目的	「地域経済活性化」「地域活動・ボランティア活性化」「コミュニティ活性化」等を図る。
事業概要	【第1期～第2期試験運用(H26.10-H29.3末)】 第1期(H26.10-27.9)は、通貨の名称・単位・デザインが決定し、発行先、および利用店舗の募集を開始し、78店舗が加盟店となった。H26.10月から広報紙等による制度の周知を開始すると同時に、ボランティア活動や、資源物回収を実施している自治会等への配布を開始した。 第2期(H27.10-29.3)は、上記の取組を継続するほか、H28年10月には、18歳未満の子を持つ世帯に対し、子ども1人あたり1万円分の地域通貨を配付し、子育て支援事業として実施した。また、個人や商店間での流通の促進のために、地域通貨取扱店のぼり旗を作成し、配布した。また、地域通貨による納税、地域活性化ファンド等、新たな活用方法についての検討をした。検討委員会では、地域通貨事業全体のうち、通貨概要の検討・決定、通貨の印刷・発行、PR等を通じた利用促進等の業務を担当し、通貨の換金業務については町商工会が担当することで実施した。 【H29.4本格運用】 H29.4月以降は「検討委員会」から「運営委員会」となり、地域通貨の本格運用開始。今年度は、さらなる目的推進のため、下記の内容を実施した。 ①民間循環の促進のため、個人でも地域通貨を購入できるようにした。 ②利用店舗の加入拡大 ③地域活動推進のため、自治会や各種団体で購入できるようにし、地域通貨を社会福祉協議会へ寄付できるようにした。 ④子育て支援として、子育て応援手当を32年度まで地域通貨で配付した。 【H30年度】 前年度の取り組み状況を踏まえ、引き続き地域経済活性化、地域活動・ボランティア活性化、コミュニティ活性化を図るためのツールとなるよう、実施していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	(基本目標) 幸せを感じる暮らしをつくる 「幸せな暮らしとを感じる人」の割合：H26年度－%→H31年度78%、H32年度80%【H29実績87.4%】 幸せを感じる暮らしをつくる 人口の社会動態：H26年度△24人→H31年度±0人【H30実績△124人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施		
事業費	869,684	929,358	965,000	2,764,042	
市町支出金 (ソフト事業分)	869,679	929,352	965,000	2,764,031	
うち県交付金	432,839	462,676	0	895,515	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5	6	0	11	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業建設部観光工商課商工係
担当者名	高塩 悦子
電話	0285-72-8845
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	益子町地域通貨検討事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町交付金	929,352	
貯金利息	6	
計	929,358	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報酬	4,000	4,000			益子町地域通貨運営委員会 委員報酬
消耗品費	106,768	106,762	53,381	6	のし袋、のぼり旗
印刷製本費	393,720	393,720	196,860		通貨印刷費、パンフレット印 刷費
通信運搬費	0	0	0		地域通貨取扱店通知用
委託料	424,870	424,870	212,435		web管理委託料、換金事務 委託料、通貨デザイン委託 料
計	929,358	929,352	462,676	6	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	賑わい創出事業補助金事業
事業主体の名称	益子町商工会
代表者の名称	会長 塚本 裕昭
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2044-1
事業主体の概要	団体の目的: 会員企業の繁栄・発展と地区内商工業の振興発展に寄与する 設立年月日: 昭和35年12月16日 構成員: 会長1名、副会長2名、理事27名、監事2名、会員数623名
当該事業に係る地域の現状と課題	近隣自治体や町内においても大型商業施設の出店が相次ぎ商店街利用者数、町内商店数は、10年間で251店から178店まで減少している。(出典: 益子町統計書) 商店街は、商品やサービスの提供の場であるばかりではなく、地域の暮らしを支える生活基盤として多様なコミュニティ機能担っており、地域住民が安心安全に生活できる環境維持に大きく貢献している。このような大切な役割のある商店街に、にぎわいを創出させ、地域コミュニティ活動を活性化し、商店街の魅力を増強することにより、郷土愛を育むとともに通年をとおして外から人を呼び込む施策づくりが求められている。
事業目的	各商店街に花の苗を配布し、栽培をしてもらうことで、地域内住民の世代を超えた活動・交流を促進するとともに、住民の郷土愛を醸成する。また、商店が連携して景観を向上させることにより地域の魅力を高め観光客の回遊を促すことで、誘客と滞在時間の延伸を図り、通年型の賑わう観光まちづくりを実現する。また、各種イベントを実施することで、商店街の魅力を町内外に発信し新たな観光客を呼び込むとともに、地域住民の世代を超えた連携・交流を図る。
事業概要	【平成30年度】 ・商店街景観向上事業 商店街の景観向上を目的に花いっぱい運動と店頭清掃周知徹底運動を6月と12月に実施し、地域の魅力を高めるとともに地域住民の交流を図る。 ・地域活性化及び観光客誘客事業 商店街に賑わいを創出するために、ビルマ汁フェスティバル事業、ましこTOYBOX事業、益子本通り雛めくり事業を実施し、商店街の益子ならではの魅力を広くPRするとともに、地域住民の世代を超えた交流や郷土愛の醸成、そして交流人口の増加を図る。 【平成31年度以降】 ・商店街に賑わいを創出させるための事業を引き続き実施予定
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客誘客の拡大…KPI: 観光客入込数(H26: 185万人→H32: 250万人)【H30実績275万人】 観光客宿泊者数(H26: 1.7万人→H32: 3万人)【H30実績4.7万人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位: 円)

	H30年度	H31年度	H32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	賑わい創出補助金事業	賑わい創出補助金事業	賑わい創出補助金事業		
事業費	1,574,780	1,355,000	1,355,000	4,284,780	
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,074,780	855,000	855,000	2,784,780	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業建設部観光商工課商工係
担当者名	高塩悦子
電話	0285-72-8845
連絡先 FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.jg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	賑わい創出事業補助金事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町交付金(賑わい創出事業補助金)	500,000	
商工会事業費	502,000	
商工会青年部事業費	415,080	
雑入	157,700	ビルマ汁フェスティバルチケット売上げ代他
計	1,574,780	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	15,000			15,000	謝礼
消耗品	823,327	300,000	150,000	523,327	花苗代等
燃料費	17,217			17,217	ガス代等
食料費	36,039			36,039	お弁当代、お茶代他
印刷製本費	340,617	200,000	100,000	140,617	ポスター、チラシ印刷代他
保険料	13,220			13,220	イベント保険
使用料及び手数料	33,360			33,360	会場使用料、ごみ処分手数料
通信運搬費	0			0	郵送代
委託料	296,000			296,000	舞台設営、音響代、出演委託他
計	1,574,780	500,000	250,000	1,074,780	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	ましこ町民大学まちづくり事業
事業主体の名称	ましこ町民大学第5期生
代表者の名称	上野幸弘
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町益子3667-3 (益子町中央公民館 気付)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:平成29年度実施事業である「ましこ町民大学アクションプラン」の実行のために設立</p> <p>・設立年月日:平成30年2月8日</p> <p>・構成員等:森田聡子、大塚昭一、玉田聖子、桜井逸郎、野澤竜一、大坪彩華、上野幸弘、荒井勇、高木香織、高田展史、高橋英子、布川奈穂、北条雅章、竹谷浩、玉田良雄、橋本秀一、法師人和哉、大塚智子、大塚清美、吳浦良太、荒井陽美、太田敏雄、小平美咲、高橋家光、涌井洋</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>●益子町では、平成10年～13年の4年間で開設した「ましこ町民大学」の卒業生119名が、現在、それぞれの地域や立場で活躍している。しかしながら、現在活躍している卒業生は、当時の平均年齢で54歳、そこから17年が経過し、平均年齢は74歳となり、高齢化してきている。そして、今後の地域活動を担う後継者の育成が課題となっている。そこで、自分たちの住む町の良さや問題点を学ぶ機会を設けることで、地域への関心を醸成し、地域の課題解決に取り組み協働のまちづくりの実践者を育成するため、昨年度町民大学第5期を実施した。講座の中で、グループごとにテーマを決め、自分達に出来ることでまちづくりを実践していく「アクションプラン」を作成した。平成30年度はその実践の年になる。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>ましこ町民大学の卒業生が益子町まちづくり基本条例の住民自治の考えにより、地域課題の解決やより良い地域づくりに関する実践活動を通して人材育成を目的とする。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>●感謝の気持ちを循環させ、思いやりの心を育むことにより、笑顔のまちを目指す。感謝を伝えるカードを作り、イベント等で参加者へ配布する。</p> <p>具体的事業:各種団体と連携して、イベント等でカードを作るワークショップを行う。清掃活動を通して「ありがとう」と言ってもらえる活動を行い、カードを配布。啓発チラシを作成、配布。8/11-8/12ひまわり祭り、9/22ましこいきいきトライやるスクール、10/14道の駅ましこ周年祭、11/17ましこ町民まつりを実施。</p> <p>●小貝川や道の駅ましこ周辺の環境活動を進める。清掃・生態調査・道の駅案内板やバイクスタンドの設置などを自治会・学校などと協働して進める。</p> <p>親水公園の花壇の整備(4/22、6/3、6/10、7/1、7/14、8/5、9/9、10/7、12/2、1/20)</p> <p>小貝川清掃(7/14)</p> <p>ひまわり祭り参加(8/11-8/12)</p> <p>●子育て支援施設における活動に関し、ボランティアとして協力。</p> <p>ましここっこハウスオープニングイベント参加(7/8)</p> <p>ましここっこハウス内壁塗りワークショップ参加(7/28)</p> <p>●広く普及しているSNS「Facebook」を活用し、町民視点で益子町の地域資源(文化財・イベント・活動)を町内外に紹介発信した。</p> <p>記事編集活動:Facebookページ「ましこに來とこれー編集部」(グループメンバーに限定公開)で情報交換した。</p> <p>紹介発信活動:Facebookページ「ましこに來とこれー」で年4回(3・6・9・12月)の定期記事を発行(Facebook上での記事投稿)した。</p> <p>6月1日発行:祇園祭、ひまわり祭り、益子夜市、9月1日発行:コスモス祭り、12月1日発行:雛めぐり、3月1日発行:陶器市</p> <p>「いいね!」数:90(H31.2.21現在)</p> <p>編集部メンバーは21人になり、町内の交流活性化の一助となっている。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>町民学士認定者数 H31年度220人 → H32年度250人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H30年度	H31年度	H32年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<p>・各種団体と連携して、イベント等であらうカードを作るワークショップを実施。</p> <p>・Facebookを活用し、町民視点で益子町の紹介発信した。</p> <p>・清掃事業、花壇整備実施。</p> <p>・子育て支援センターの字事業にボランティアで支援。</p>	<p>・各種団体と連携して、イベント等でカードを作るワークショップを行う。</p> <p>・Facebookを活用し、町民視点で益子町の紹介発信する</p> <p>・清掃事業、案内看板・バイクスタンドの設置</p> <p>・子育て支援センターの字事業にボランティアで支援。</p>	<p>・各種団体と連携して、イベント等でカードを作るワークショップを行う。</p> <p>・Facebookを活用し、町民視点で益子町の紹介発信する</p> <p>・清掃事業、案内看板・バイクスタンドの設置</p> <p>・子育て支援センターの字事業にボランティアで支援。</p>		
事業費	214,200	302,480	302,480	819,160	
市町支出金(ソフト事業分)	141,000	201,653	201,653	544,306	
うち県交付金	70,000	100,000	100,000	270,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	73,200	100,827	100,827	274,854	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課生涯学習係
担当者名	木村幸恵
電話	0285-72-3101
FAX	0285-72-3110
E-mail	svougai@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ましこ町民大学まちづくり事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
ましこ町民大学まちづくり活動補助金	141,000	
会員自費	73,200	
計	214,200	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	109,250	73,000	36,000	36,250	筆記用具、のぼり、エプロン、ごみ袋等
食糧費	19,869			19,869	ワークショップ・清掃活動等作業時の茶菓子代
印刷製本費	23,975	22,000	11,000	1,975	チラシ制作
報償費	6,400	4,000	2,000	2,400	SNS発信用取材謝礼 8名
備品購入費	20,437	12,000	6,000	8,437	USBメモリー、鎌、スコップ
原材料費	33,669	30,000	15,000	3,669	木材、ペンキ
使用料及び賃借料	600			600	
計	214,200	141,000	70,000	73,200	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	花のまちづくり事業
事業主体の名称	ましこ花のまちづくり実行委員会
代表者の名称	ましこ花のまちづくり実行委員長 大塚 朋之
事業主体の所在	〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町大字益子3667番地3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 益子町の花のまちづくり事業推進するため 設立年月日: 平成20年7月9日 構成員等: 事務局(益子町生涯学習課)及び関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 本町の観光客の大半は、基幹産業である益子焼を目当てとした日帰り個人客であり、年間観光客数は平成24年の196万人から年々減少している。 本町は、益子焼の他にも美しい田園風景や里山の原風景といった観光素材を豊富に有しており、これらの魅力を町内外へ広く訴求し、新たな観光交流人口の増加を図る必要がある。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載 美しい田園風景を有する町内上山地区において、大規模花畑の作付・イベントを開催することで、新たなまちの魅力を創出し、観光交流人口の増加・滞在時間の延伸を図る。 また、地域住民が主体となり花の栽培を行うことで、地域間の交流・世代間交流を促進させ、地域活性化・郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載 【平成30年度】8月にひまわり、10月にコスモス祭りを実施した。 ○ひまわり祭り 8月11日～19日 来場者数 59,791名 8月11日 オープニングセレモニー・HULAO MOANA(フラダンス)、斎藤綾子(歌謡ショー) 出演 8月12日 東田井お囃子会、いいあんばい(フォークソング)出演 8月18日 田野保育園(和太鼓演奏)出演 期間内を通して農産物の販売を行った。 ○コスモス祭り 10月6日～21日 来場者数 20,961名 10月6日 オープニングセレモニー・たから幼稚園(歌・マーチング)、HULAO MOANA(フラダンス)出演 10月9日 神奈川県厚木市フラワーパーク下依知実行委員会及び市職員 視察研修 10月13日 内町お囃子会、いいあんばい(フォークソング)出演 10月14日 益子ベンチャーズ倶楽部(エレキバンド)出演 夜祭り…コスモスのライトアップ・とちおとめ(引き語り)出演 10月20日 益子小学校吹奏楽部出演 ①オープニングセレモニー②町内幼稚園等の演奏等③農産物の販売 【平成31年度】平成30年度同様 【平成32年度】平成30年度同様</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載 年間観光客入込数 平成30年度 230万人 平成31年度 240万人 平成32年度250万人 観光客宿泊者数 平成30年度 26,000人 平成31年度 28,000人 平成32年度 30,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売	①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売	①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売		
事業費	11,000,000	11,000,000	11,000,000	33,000,000	
市町支出金(ソフト事業分)	2,331,000	2,331,000	2,331,000	6,993,000	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	8,669,000	8,669,000	8,669,000	26,007,000	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課
担当者名	菊地 勇介
電話	0285-72-3101
FAX	0285-72-3110
E-mail	svougai@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ましこ花のまちづくり事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	11,000,000	町交付金
計	11,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考	
		市町支出額			自主財源等
		町交付金	県交付金		
ポスター・チラシ	195,430	195,430	97,000	ポスター200枚 チラシ20,000枚	
メディア掲載費	108,000	108,000	29,000	広告掲載5回	
花苗代・種子代(公共施設用)	110,000	110,000		H30年度はすべて種子対応	
培養土・肥料代	66,198	66,198		植栽用、育苗用培養土	
プランター・育苗ポット代	46,860	46,860		公共施設用プランター代 育苗ポット代	
フラワーボランティア活動費	21,405	21,405		作業時飲み物代等	
イベント関係消耗品費	827,982	827,982	413,000	イベント案内看板材料費等	
大規模花畑イベント費	833,220	833,220		ビッグテント設置×2回	
大規模花畑展望台費	870,480	870,480			
大規模花畑トイレ費	721,256	721,256		仮設トイレ6基×2回 2基×1回	
ひまわりサミット開催費	150,000	150,000		ひまわりサミット負担金	
栽培費	6,000,000	6,000,000		(30円/1㎡あたり)×200,000㎡	
ひまわり種子代	328,600	328,600	134,000		
コスモス種子代	655,101	655,101	327,000		
通信費	56,780	56,780		ポスター、パンフレット郵送費	
会議時食糧費	3,552	3,552			
手数料	5,136	5,136		振込手数料	
ゴミ処分料	0	0			
予備費	0	0			
計	11,000,000	11,000,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(陶器市巡回バス運行)事業
事業主体の名称	益子焼販売店協同組合
代表者の名称	理事長 大塚和美
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町城内坂150
事業主体の概要	・団体の目的: 陶器市の企画立案及び運営を行うこと ・構成員等: 10名 大塚和美、中山武、小峰由香里、櫻井逸郎、篠原里子、鍛冶浦豊、塚本純子、塚本倫行、大塚好重、塚本央
当該事業に係る地域の現状と課題	陶器市には年間約60万人の観光客の入込がある中、それを受けいれるだけの駐車場の確保が困難な状況が続き、長蛇の渋滞をまねいている。近年は、陶器市会場から離れた場所に大型の駐車場を確保し、多少なり渋滞の緩和につながってはいるが、陶器市会場から、駐車場が離れていることもあり不便をきたしている。それに加え、陶器市会場から駅、観光施設等も離れており、町内を車や徒歩で移動するにも不便な状況となっている。
事業目的	周辺道路の渋滞を緩和するとともに観光客の移動を円滑化し、観光客の町内回遊と消費拡大を図る。
事業概要	【H30年度】 陶器市会場巡回バスを運行することにより、観光客の回遊性の向上、町の更なる活性化に繋げるとともに、観光客の誘致を図る。 運行概要 運航日: 4/28(土)~30(月・祝) 5/3(木・祝)~6(日) 1日21便 利用者4,808人 益子駅西臨時駐車場ー益子駅ー鹿島神社一城内坂バス停ー陶芸メッセ入口一つかもと広場一つかもと一つかもと広場ー陶芸メッセ入口ー城内坂バス停ー益子町役場ー益子駅西臨時駐車場 【H31年度以降の取組】 前年度の利用状況等を踏まえ、引き続き陶器市と連携して来訪者のニーズに合った巡回バスを運行する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→250万人(H32) 【実績値】258万人(H29)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	陶器市会場巡回バスの運行	陶器市会場巡回バスの運行	陶器市会場巡回バスの運行		陶器市会場巡回バスの運行
事業費	1,009,728	1,011,096	1,000,000	3,020,824	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	709,728	711,096	700,000	2,120,824	700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	那花
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(陶器市巡回バス運行)事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	480,800	
観光協会負担金	230,296	益子町観光協会
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	1,011,096	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
委託料	1,000,188	300,000	150,000	700,188	巡回バス運行委託
手数料	540	0	0	540	口座振込手数料
報償費	10,368	0	0	10,368	駐車場借地謝礼
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,011,096	300,000	150,000	711,096	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子夜市)事業
事業主体の名称	益子夜市実行委員会
代表者の名称	実行委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 夏場・夜間の集客、ジャンルを超えたおもてなしの提供 ・設立年月日: 平成25年 ・構成員等: 13名 外池茂樹、大塚和美、上野一己、仲野信吾、大塚達、菊岡祐子、櫻井逸郎、神谷耕司、馬場章信、塚本倫行、塚本裕昭、大塚道男、神田智規
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH28年の販売額は29億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。また、夏場・夜間の集客が弱く、売り上げが落ちている。このような状況下で、城内坂の焼き物店で夜間の営業と歩行者天国にしての町内の飲食店、農家等ジャンルを超えた催しを実施することで益子焼の消費拡大のきっかけを創出することが必要である。
事業目的	夏場・夜間に陶器やクラフトに限らずジャンルを超えたおもてなしを提供することにより、若者や子育て世代を中心とした誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、町内内部での連携強化を実現する。
事業概要	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行い、来場者をおもてなしする。周知の為のポスターチラシ作成。夜の安全確保のための照明、保険、看板設置、警備員配置を実施する。 実施: 平成30年8月11日18:00~21:30 会場: 益子町城内坂通り 実施内容: ましこ音楽祭: 益子にゆかりのあるアーティストによるストリートライブ マルシェ: 飲食店、農園、商工会、祭若組等による飲食の提供、益子焼や灯りなどの雑貨の展示販売 浴衣着付けサービス イベントラジオ放送 ゲーム催事や受付案内 入込数: 約5,700人
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】 風土に根ざした産業をつくる 【KPI】 観光客入込数 185万人(H26)→250万人(H32) 【実績値】 258万人(H29)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う		城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う
事業費	677,108	665,605	700,000	2,042,713	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	377,108	365,605	400,000	1,142,713	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロモーション係
担当者名	那花
電話	0285-72-8846
連絡先 FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(益子夜市)事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	173,947	出店料(売上の5%)
自己資金	191,658	城内坂通り会
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	665,605	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	325,000	300,000	150,000	25,000	ライブ出演料10団体 PA
消耗品費	8,462			8,462	イベント用消耗品
食糧費	9,232			9,232	お茶代
印刷製本費	137,197			137,197	チラシ制作
通信運搬費	3,280			3,280	切手代
広告宣伝費	43,200			43,200	広告費
委託費	32,724			32,724	警備委託
使用料及び賃借料	22,000			22,000	会場使用料7件
保険料	34,510			34,510	イベント保険
工事請負費	50,000			50,000	照明設備費
				0	
計	665,605	300,000	150,000	365,605	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金事業(益子さんぼ市)
事業主体の名称	里山通りの会
代表者の名称	岩下 武
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子3062-5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:手仕事の町益子をアピールするために様々な種類のクラフト作家による出展を行う ・設立年月日:平成20年 ・構成員等:10名 岩下武、太田幸博、井上敏一、井上明、岩下哲夫、小野沢則子、川尻ゆみ子、見目木実、佐藤麻奈、白樫キミエ
当該事業に係る地域の現状と課題	益子町は古くから益子焼をはじめとする手仕事の町として発展してきた。しかし近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH28年の販売額は29億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、益子焼に限らず様々なクラフトのイベントを実施することでそれらを町外へのPRすることが必要である。
事業目的	手仕事の町益子を町外にアピールし、若者を中心とした更なる交流人口の増加を図るとともに、陶芸・クラフト等の地域文化やライフスタイルを提案することにより、町へのUターンや起業を促進する。
事業概要	<p>実施時期:9月15~17日 10:00~16:30 場所:陶芸メッセ大駐車場及び共販センター北駐車場 さまざまな種類のクラフト作家による出展(布、木工、革、金工、陶、アクセサリー等のクラフト作家の展示、販売、実演)を行い、作家の応援、モノの楽しさの共有、モノを通して人と人との出会いの場の提供を行った。また、会場周辺で飲食ブースや演奏などのイベント開催した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→250万人(H32) 【実績値】258万人(H29)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ		クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ
事業費	1,535,670	1,160,607	1,500,000	4,196,277	1,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	262,607	300,000	862,607	300,000
うち県交付金	150,000	131,303	150,000	431,303	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,235,670	898,000	1,200,000	3,333,670	1,200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンロモーション係
担当者名	那花
電話	0285-72-8846
連絡先 FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mamshiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(益子さんぽ市)事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	898,000	出店料
自己資金		
町支出金(おもてなし補助金)	262,607	
計	1,160,607	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
広告宣伝費	358,134	262,607	131,303	95,527	チラシ・ポスター・DM・HP等
報償費	608,300			608,300	イベントスタッフ報償
光熱水費	60,000			60,000	電気代
通信運搬費	21,166			21,166	郵便発送
食糧費	63,312			63,312	出演者・スタッフ飲料代
消耗品費	12,695			12,695	イベント用消耗品
使用料及び賃借料	37,000			37,000	会場使用料・倉庫レンタル
				0	
				0	
計	1,160,607	262,607	131,303	898,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子の新そば祭り)事業
事業主体の名称	益子の新そば祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 宇津木 智
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 益子産そばの周知、普及を図り、生産の拡大と観光誘客 ・設立年月日: 平成18年 ・構成員等: 11名 宇津木智、萩原進、斉藤実、寺方祐輔、八木勉、西谷明子、上野一巳、野澤秀夫、神田智規、鈴木幸一、大塚和美
当該事業に係る地域の現状と課題	地域ブランド調査2018では、益子焼の認知度は高い総合順位を前年(486位)から450位と上げたものの、観光地でありながら低位であり、町について深く認知されていないのが現状である。益子町はそばの生産が盛んでそば店も多い。観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、そういった資源を磨きあげ、PRすることが必要である。
事業目的	益子産そばの周知・普及を図り、益子焼だけでなく益子の魅力、ブランド力を向上させ、観光誘客をはかる。益子焼の販売店とコラボした新そばめぐりのイベントを行うことで町内を回遊し益子焼の消費拡大を促す。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 益子の新そばめぐり～蕎麦の実プロジェクト～ 期間: 平成30年11月10日(土)～30日(金) 会場: 各店舗 内容: 話題のスーパーフード蕎麦の実を使用したオリジナルメニューの提供 2. 益子の新そばを楽しむ集い～made in mashiko～ 期間: 平成30年11月23日(金)～25日(日) 会場: 道の駅ましこ 内容: 益子の蕎麦・蕎麦粉を使ったメニューや蕎麦関連商品の販売 3. 観光パンフレットの制作 (1) 益子のそばマップ制作 5,000部 (2) チラシ 11,000部 (3) ポスター 50枚
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】 風土に根ざした産業をつくる</p> <p>【KPI】 観光客入込数 185万人(H26)→250万人(H32)</p> <p>【実績値】 258万人(H29)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。		新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。
事業費	295,474	450,000	450,000	1,195,474	450,000
市町支出金 (ソフト事業分)	196,982	300,000	300,000	796,982	300,000
うち県交付金	98,491	150,000	150,000	398,491	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	98,492	150,000	150,000	398,492	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	那花
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(益子の新そば祭り)事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	150,000	参加料30,000円(@3,000×10店舗)・出店料73,000円(売上の10%) 広告負担費47,000円
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	450,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	321,505	300,000	150,000	21,505	チラシ・ポスター制作他
手数料	1,620			1,620	口座振込手数料
広告宣伝費	79,741			79,741	新聞折込・広告掲載
通信運搬費	2,134			2,134	郵送料
使用料及び賃借料	45,000			45,000	会場使用料
				0	
				0	
				0	
				0	
計	450,000	300,000	150,000	150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(ポターリングましこ)事業
事業主体の名称	ポターリングましこ実行委員会
代表者の名称	実行委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	団体の目的: ポターリングましこの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日: 平成25 構成員: 10名 外池茂樹、酒井誠、城野徹、大塚隆、大塚莊一、瀬田昌也、仁平祐太、枝幹夫、神田智規、添田美穂
当該事業に係る地域の現状と課題	自転車ライダーチーム「チューリングましこ」が町内のサイクリングコースの考案やポターリングイベント事業に主体的に関わっている。益子町は、自転車で走り回るにはちょうど良い里山の景色や中世の文化財、カフェなどが点在しており、多様に楽しめる素材が豊富である。
事業目的	自然豊かな風景や観光名所・カフェなどの拠点をゆっくりと自転車で周遊することで、参加者により深く益子の魅力を知ってもらい、さらに参加者のリピーター化を期待し、今後のポターリングによる周遊観光の拡大に繋げる。
事業概要	実施: 平成30年12月2日(日) 参加者: 50名 コース: ①濱田庄司記念益子参考館コース 10名×3組 道の駅ましこ-参考館(美術館)-綱神社・大倉神社(文化財)-カフェランチャー大郷戸ダム公園-広田りんご園(体験)-道の駅ましこ ②外池酒造酒蔵コース 10名×2組 道の駅ましこ-酒蔵(見学)-綱神社・大倉神社(文化財)-カフェランチャー大郷戸ダム公園-広田りんご園(体験)-道の駅ましこ 自転車でゆっくり走るポターリングを陶器の町ということで「ポターリングましこ」として実施。エイドではパンや果樹などの益子の特産品をふるまい、ランチ券で町内にあるカフェに誘導する。ゲストライダーで盛り上げ、地元自転車チームがサポートライダーとして安全面を確保した。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→250万人(H32) 【実績値】258万人(H29)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ポターリングましこの実施	ポターリングましこの実施	ポターリングましこの実施		ポターリングましこの実施
事業費	1,695,300	1,428,000	285,394	3,408,694	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	190,262	790,262	200,000
うち県交付金	150,000	150,000	95,131	395,131	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,395,300	1,128,000	95,132	2,618,432	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	那花
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金(ポターリングましこ)事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
自己資金	95,132	ポターリングましこ実行委員会
町支出金(おもてなし補助金)	190,262	
計	285,394	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	26,800	26,800	13,400	0	ゲストライダー等
印刷製本費	149,040	149,040	74,520	0	チラシ制作
広告宣伝費	16,254	14,422	7,211	1,832	スポーツエントリwebサイト
保険料	6,000			6,000	イベント保険
手数料	2,300			2,300	道路使用手数料
使用料及び賃借料	45,000			45,000	施設使用料
委託料	40,000			40,000	ガイド・コース設定委託
				0	
				0	
				0	
計	285,394	190,262	95,131	95,132	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子の雛めぐり)事業
事業主体の名称	益子の雛めぐり実行委員会
代表者の名称	委員長 塚本ゆ美子
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	団体の目的: 益子の雛めぐりの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日: 平成21年 構成員: 19名 塚本ゆ美子、中山久美、橋本郁子、直井雅子、櫻井敦子、大塚ゆかり、井上美智代、小野沢則子、佐藤麻奈、木村真由美、濱田雅子、宮澤聖法子、神田智規、栗谷昌克、日渡君江、高橋美江、大塚和美、塚本裕昭、斉藤哲雄
当該事業に係る地域の現状と課題	ギャラリーやショップが1km以上もある城内坂。益子焼をはじめとする手仕事文化として発展してきた。一方で近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH28年の販売額は29億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、中世の文化財をはじめとする古い建物が多く、着物が似合う町であるような益子焼以外の地域資源の磨き上げやそれらの町外へのPRが必要である。
事業目的	益子ならではの陶雛、土雛、吊るし雛などを展示販売し、観光客を誘致する。また、各会場が連携して事業を実施し、おもてなしするとともにクリズラリーにより観光客が各会場を回遊することにより、誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、通年型のにぎわう観光まちづくりを実現する。
事業概要	益子の雛めぐり～見る・体験する・味わう・買う～ 益子ならではの陶雛、お椀雛、吊るし雛などの展示・販売を行った。 1.オープニングイベント・展示 実施:平成31年2月9日(土)～3月3日(日) 会場:道の駅ましこ、各会場 内容:「お椀雛お披露目」茶碗やぐい飲みにお雛様の絵付けをした「お椀雛」の集合展示販売(道の駅ましこ) 陶雛、お椀雛、吊るし雛などの展示・販売 雛スイーツ、雛ドリンク、雛限定メニューの提案 ワークショップの実施・雛めぐりスタンプラリーの実施 2.クローゼンイベント「桃雛祭り～コスプレで城内坂をあるっちゃおう!」 実施:平成31年3月2日(土) 雛仮装コンテスト・着物レンタル・雛マルシェの開催 入込数:約13,110人
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】風土に根ざした産業をつくる 【KPI】観光客入込数 185万人(H26)→250万人(H32) 【実績値】258万人(H29)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H29年度	H30年度	H31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	益子の雛めぐりの実施	益子の雛めぐりの実施	益子の雛めぐりの実施		益子の雛めぐりの実施
事業費	748,700	797,383	800,000	2,346,083	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	448,700	497,383	500,000	1,446,083	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	那花
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもてなし補助金事業(益子の雛めぐり)	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業収入	297,383	参加費140,000円・広告費60,000円・出店料5,300円イベント収益92,083円
商工会助成金	100,000	益子町商工会
観光協会補助金	100,000	益子町観光協会
町支出金(おもてなし補助金)	300,000	
計	797,383	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	29,316			29,316	ボランティア謝礼、着付け整髪技術料
旅費	1,520			1,520	交通費
消耗品費	118,052			118,052	雛飾り制作用資材他
消耗品費	10,858			10,858	コンテスト景品代
食糧費	6,199			6,199	お茶代
印刷製本費	557,760	300,000	150,000	257,760	ポスター、チラシ制作他
使用料及び賃借料	14,055			14,055	会場使用料
手数料	9,037			9,037	口座振込手数料他
通信運搬費	50,586			50,586	参加案内、ポスターチラシ郵送料他
				0	
				0	
計	797,383	300,000	150,000	497,383	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域創生活動費補助事業(国内外との文化交流事業)
事業主体の名称	NPO法人 MCAA
代表者の名称	横尾 聡
事業主体の所在	益子町大字益子706-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:窯業事業者をはじめとする、やきものの町・益子を取り巻く人々に対して、作家のネットワークづくり、国内外との文化交流活動等を行い、創作環境の整備、まちの活性化に寄与することを目的とする。(団体「定款」から抜粋) ・設立年月日:平成22年12月25日 ・構成員等:横尾聡、筆谷淑子、石嶋哲彦、小貫善二、栗谷昌克、鈴木京子、横尾恵美子、ゲムリッチ・アントリュー・ジョーダン、藤原
当該事業に係る地域の現状と課題	観光については、観光客の大半は日帰り個人客で年間観光客数は、平成24(2012)年の196万人から年々減少しています。本町には、陶芸をはじめとした民藝の文化や、中世の歴史的建造物、美しい里山などの観光資源が豊富にあります。今後は、外国人を含めた観光客の誘客、宿泊供給体制の構築が必要となります。また、伝統産業である益子焼の総販売額や事業所数の減少が見られます。(地方版総合戦略「新ましろ未来計画」の現状と課題から抜粋)
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・海外陶芸作家と協力し、手仕事や伝統工芸の良さを町内を含む国内外の人々に観覧する機会を提供する。 ・海外陶芸家とのワークショップ等を通じ、窯業技術及び質の向上、窯業技術者の育成・支援を図る。 ・これらを通じ、広く消費者にPRし、焼き物の町としての魅力アップを図る。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国陶芸作家との交流事業。具体的には、韓国・益子の陶芸作家企画展を10/13～11/18(秋の益子陶器市(11/2～5)期間中を含む。会場の移動あり。)に開催し、約1,000人の来場者があった。また、企画展のほか、韓国陶芸家による大壺制作ワークショップ、講演会、町内でのホームステイ、栃木県産業技術センター窯業技術支援センター伝習生等との懇談、茨城県笠間焼作家等との広域交流等を通じ、益子作家及び地域住民等との交流を図った。 <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>「世界一」人が集う焼き物の町づくり・・・KPI: 益子焼総販売額(H25:32億円→H31:38億円(3年毎の調査指標のため))</p> <p>観光客誘客の拡大・・・KPI: 観光客入込数(H26:185万人→H32:250万人)、観光客宿泊者数(H26:1.7万人→H32:3万人)</p> <p>外国人観光客(インバウンド)の誘客・・・KPI: 外国人観光客宿泊者数(H26:338人→H32:700人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・韓国陶芸作家との交流事業(韓国・益子の陶芸作家企画展のほか、ワークショップ等を通じての益子作家及び地域住民との交流事業)	・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定。事業費については30年度と同額計上)	・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定。事業費については30年度と同額計上)		・韓国・米国・英国などの陶芸作家との交流事業(詳細未定。事業費については30年度と同額計上)
事業費	1,173,100	1,173,100	1,173,100	3,519,300	1,173,100
市町支出金(ソフト事業分)	782,000	782,000	782,000	2,346,000	
うち県交付金	391,000	391,000	391,000	1,173,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	391,100	391,100	391,100	1,173,300	1,173,100

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部 企画課 地方創生担当
担当者名	吉永 正志
電話	0285-72-8828
FAX	0285-72-7601
E-mail	kikaku@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	益子町地域創生活動費補助事業(国内外との文化交流事業)	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	782,000	益子町地域創生活動費補助金
自己資金	391,100	
計	1,173,100	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	30,000	20,000	10,000	10,000	ワークショップ講師謝礼
旅費	380,000	253,350	126,675	126,650	韓国陶芸家10名宿泊費 " 国内旅費
食糧費	155,000	103,350	51,675	51,650	韓国陶芸家10名食事費 " レセプション等
印刷製本費	250,000	166,650	83,325	83,350	ポスター、リーフレット、DM等 作成費
光熱水費	10,000	6,700	3,350	3,300	ワークショップ時焼成費
通信運搬費	269,009	179,300	89,650	89,709	作品搬出費、ポスター・リーフ レット・DM郵送料
消耗品費	10,471	6,900	3,450	3,571	芳名帳、作品カード、ネームブ レート等、
使用料	58,045	38,700	19,350	19,345	ギャラリー使用料、美術館入 館料
原材料費	10,575	7,050	3,525	3,525	陶土代
				0	
計	1,173,100	782,000	391,000	391,100	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域創生活動費補助事業(小宅古墳群景観形成事業)
事業主体の名称	亀岡八幡宮里山の会
代表者の名称	小倉 昭三
事業主体の所在	益子町大字小宅1372-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域協働による森林・山村の多面的機能の発揮のための活動を通じ、地域活性化を図ることを目的とする。(団体「規約」から抜粋) ・設立年月日:平成25年8月25日 ・構成員等:小倉昭三、佐藤敬司、床井秀夫、谷口健、関戸一彦、横山仁美、小野薫、床井文夫、小倉実、横山孔、床井宏、中山正夫、赤羽幸一、明石哲夫
当該事業に係る地域の現状と課題	里山の景観を次の世代に引き継ぐ取組や再生可能エネルギーの活用といった自然と共生するライフスタイルを推奨し、地域循環型社会をめざしていく必要があります。また、各地域には、掘り起こされていない地域資源となるものがたくさんあります。長期的な視点で、地域資源をいかした魅力あるまちづくりを考えていく必要があります(地方版総合戦略「新まじこ未来計画」の現状と課題から抜粋)。県指定史跡である小宅古墳群は長年管理が行き届いておらず、放置竹林、雑草が繁茂する状態であった。地域資源である文化財を活用による地域活性化を図ること及びその人材育成が課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小宅古墳群の保存と保護 ・神社や古墳への誘客 ・菜種油の販売 ・地域コミュニティの醸成
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた環境整備のほか、小宅古墳群「菜の花・桜まつり(4~5月上旬)」では、5,625人の来場者があった。また、地元小学校3校の校外学習の受け入れ、栃木県議会等々の団体視察受け入れも行った。あわせて、3年に1度開催される土祭(ヒジサイ)の会場として桜・菜の花だけではなく小宅古墳群の魅力の発信に寄与した。 <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業を継続して実施予定
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備・・・KPI:里山整備実施箇所数(累計)(H26:24箇所→H32:40箇所) 特性をいかした地域創生・・・KPI:地域への愛着や誇りを感じる人の割合(H26:74.1%→H32:80.0%)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・小宅地区の地域資産である県指定文化財・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、桜の植樹、菜の花の播種を行い、区域の景観保持とともに、地域資産を活用した大規模花畑により観光誘客を図り、美しい里山の景観を次世代に引き継いでいく。	・小宅地区の地域資産である県指定文化財・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、桜の植樹、菜の花の播種を行い、区域の景観保持とともに、地域資産を活用した大規模花畑により観光誘客を図り、美しい里山の景観を次世代に引き継いでいく。	・小宅地区の地域資産である県指定文化財・小宅古墳群を含む区域の放置竹林伐採、除草、桜の植樹、菜の花の播種を行い、区域の景観保持とともに、地域資産を活用した大規模花畑により観光誘客を図り、美しい里山の景観を次世代に引き継いでいく。		
事業費	400,000	400,000		800,000	400,000
市町支出金(ソフト事業分)	266,000	266,000		532,000	
うち県交付金	129,495	128,000		257,495	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	134,000	134,000	0	268,000	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部 企画課 地方創生担当
担当者名	吉永 正志
電話	0285-72-8828
FAX	0285-72-7601
E-mail	kikaku@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	益子町地域創生活動費補助事業(小宅古墳群景観形成事業)	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	266,000	益子町地域創生活動費補助金
自己資金	134,000	
計	400,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	155,820	103,600	51,800	52,220	草刈り機・ハンマーナイフ替刃、エンジンオイルエレメント等
旅費				0	
食糧費	14,627	9,700	1,345	4,927	7/18県議会常任委員会視察時お茶代
印刷製本費				0	
光熱水費				0	
通信運搬費				0	
原材料費	142,370	94,700	47,350	47,670	菜種代、彼岸花球根、肥料代
賃借料	72,144	48,000	24,000	24,144	重機(バックホー)賃借料
燃料費	15,039	10,000	5,000	5,039	作業用燃料費(軽油)
				0	
計	400,000	266,000	129,495	134,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合